

新型コロナウイルス感染症（京都市内における先週（12/6～12/12）の状況）

◆先週の特徴など

○概況

先週（12/6～12/12）の新規感染者数は、先々週（11/29～12/5）から138人（119.0%）増の254人と倍以上になりました。1日当たりの新規感染者数でも、12/9に50人が確認されており、いずれも過去最高を記録しています。

とりわけ、家庭内感染が先々週の18人（15.5%）から4倍近い65件（25.6%）に急増しています。気温が下がり、乾燥した気候となったことに伴い、部屋を閉め切るなど、感染が広がりやすい環境になりがちなことから、一人の感染者が次にうつす人数がこれまでよりも増えていると考えられます。

国の新型コロナ感染症対策分科会が示した感染状況の指標のうち、人口10万人当たりの新規感染者数などは、既にステージⅢ（感染者の急増：医療提供体制への大きな支障が懸念される状況）の水準に達しており、このままでは、最も深刻なステージⅣ（爆発的な感染拡大）に至ることも懸念されます。

感染がこれ以上広がらないよう、感染リスクの高まる「5つの場面」を参考に生活のあらゆる場面で感染リスクを強く意識し、これまで以上に感染対策を徹底していくことが必要です。

○良いお正月を迎えるために

お正月は、離れて暮らしていた家族が帰省したり、友人知人で初詣をしたり、にぎやかに楽しく過ごすことが多いと思います。親族で新年のお祝いをするとなると、数家族が一つの部屋に集まり、長い時間、飲食を共にしながら、お喋りしたり、トランプやゲームで遊んだりします。

しかし、これらは、普段は顔を合わせない人同士の接触が増えること、換気が不十分（密閉）・大勢が集まる（密集）・ごく近い距離での会話（密着）の3密の状態が生じること、家庭内や正月休みという意識から感染対策がおろそかになりがちなことなどから、感染リスクが高まる場面でもあり、新型コロナウイルスに感染した人がいれば、一気に感染が広がるおそれがあります。先週、本市では、数家族が集まったホームパーティに起因するクラスタの発生が確認されています。

新型コロナウイルス感染症の潜伏期間は1～14日とされています。帰省やお正月の集まりを予定されている方は、その2週間前から、忘年会など外での会食への参加を控え、マスクの着用や手洗いなどの感染対策を御家庭内でも徹底してください。

また、症状が現れてから10日目までは他人を感染させやすいことから、帰省などの10日前から、発熱や咳、鼻水、下痢など、風邪のような症状がないかしっかりと確認してください。何か体調がおかしいと感じたら、思い切って、帰省の延期や参加を控えるなどの対応をお願いします。帰省については、家族のうち一人でも体調に異変があれば、全員に感染している可能性があるため、家族全員について同じ対応が必要となります。

さらに、一度に集まる人数を減らしたり、会食の時間をいつもより短くする、また、感染防止対策に取り組まれているお店を利用するなど、できる限りの感染対策をお願いします。

年末年始の地域の感染状況と御自身や御家族の体調を踏まえて、帰省するかどうかなど、お正月の過ごし方をお考え下さい。

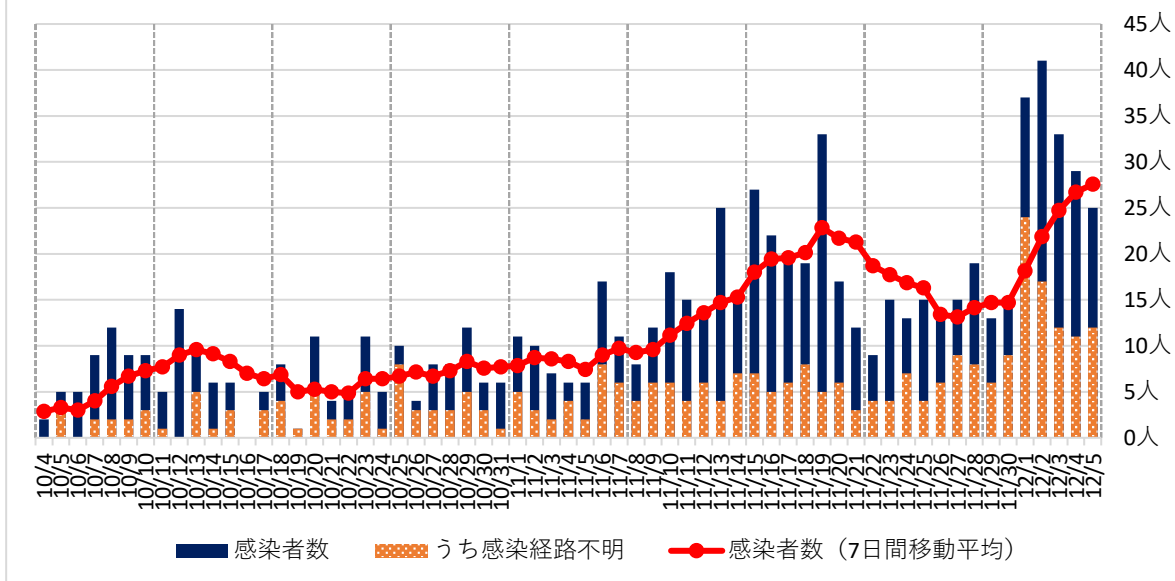
そして、良いお正月を安心して迎えるために、何よりも、今、感染拡大防止に一層しっかりと取り組んでいただくよう、お願いします。

○京都市コロナ感染防止徹底月間（第2弾）に御協力を

京都府では、府内における感染の急速な拡大により、医療体制のひっ迫が懸念されることから、大阪府など感染拡大地域への不要不急の外出自粛や飲食機会における感染防止の徹底など、「医療崩壊を防ぐための緊急要請」を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策に当たる医療機関などへの最大の支援は、感染者を増やさないことです。

新型コロナウイルス感染者数（京都市内、発症日別）



◆病床の状況

	12月6日	12月7日	12月8日	12月9日	12月10日	12月11日	12月12日
重症者病床使用率	9.3% (8人/86床)	9.3% (8人/86床)	9.3% (8人/86床)	9.3% (8人/86床)	9.3% (8人/86床)	9.3% (8人/86床)	9.3% (8人/86床)

- ・療養中患者数（12月12日現在） 372人（前週比+55人）
- 先週の新規感染者（254人）のうち、検体採取時に「無症状」の方は55人です。

◆感染者の年代

